

杉並区地域公共交通計画の進捗について

令和 7 年 1 月
杉 並 区

目標 1 ▶ 持続可能な公共交通へと刷新されている

目標 2 ▶ 生活圏での快適な移動が確保されている

目標 3 ▶ 気軽に自由な外出と回遊が確保されている

目標 4 ▶ 安全かつ安価で最適な移動が確保されている

目標 5 ▶ 脱炭素化に資するかしこい移動へと転換されている

施策と取組の実施スケジュール

計画 p 9 1 - 9 2

	短期 令和5(2023)年度 ～令和8(2026)年度	中期 令和9(2027)年度 ～令和12(2030)年度	長期 令和13(2031) 年度～
施策1-1 基幹的な公共交通ネットワークの拡充			
取組1 多様な交通の連携によるシームレスな移動の拡充	検討	実施	
取組2 各交通モードにおける運行等の最適化	検討	実施	
施策1-2 モビリティ・マネジメントの実施（公共交通の利用促進）			
取組1 全区民を対象とする公共交通の広報啓発		実施	
取組2 転入者を対象とする公共交通に関する分かりやすい情報提供	検討	実施	
取組3 小中学生を対象とする交通・環境学習の検討と推進		検討	実施
施策1-3 すざ丸の魅力高めるための再設計			
取組1 すざ丸の運行による多面的な効果の検証	検討	実施	
取組2 ホームページや時刻表による分かりやすい情報提供	検討	実施	
取組3 運行時間・ダイヤ・回送車活用などの柔軟な見直しの検討		検討	実施
取組4 運行計画・運行協定・運賃の根本的な見直しの検討		検討	実施
施策2-1 交通結節機能の強化			
取組1 公共交通のバリアフリー化の推進		実施	
取組2 駅周辺やバス停の乗り継ぎ環境の整備検討		検討	実施
施策2-2 隣接区市への公共交通アクセスの向上			
取組1 エイトライナーの早期実現に向けた取組の推進		検討	
取組2 区域地域における新たな交通サービスの導入検討	検討	実施	
施策3-1 新たな公共交通サービスによる移動の選択肢の拡充			
取組1 自宅と交通結節点までのファースト・ラストマイルをつなぐ公民連携したデマンド交通の実証運行及び実施	検討(実証運行など)	実施	
取組2 地域の回遊性の向上に資するグリーンスローモビリティの運行	検討	実施	
取組3 公共交通と福祉交通との連携強化		実施	
取組4 公民連携した新たな移動サービスの検討		検討	実施

	短期 令和5(2023)年度 ～令和8(2026)年度	中期 令和9(2027)年度 ～令和12(2030)年度	長期 令和13(2031) 年度～
施策3-2 新たなモビリティによる移動の選択肢の拡充			
取組1 生活圏域で利用できる小さな移動手段の提供		検討	実施
取組2 電動マイクロモビリティの安全な利用の促進		実施	
取組3 多様なモビリティの運行に対応した交通環境の整備		検討	実施
施策3-3 公共交通を補完する自転車利用の推進			
取組1 自転車の安全な利用の促進		実施	
取組2 公民連携したシェアサイクル事業の推進		実施	
施策4-1 安全・安心な交通環境の整備			
取組1 時代に応じた交通安全教育の拡充		実施	
取組2 バス移乗等での安全対策の実施	検討	実施	
取組3 災害時に備えた行政と事業者間の連携強化	検討	実施	
施策4-2 MaaSの実装と自動運転技術の活用検討			
取組1 交通事業者等のプラットフォームを活用したMaaSの実装	検討	実施	
取組2 オープンデータの整備・活用	検討	実施	
取組3 都市OSを見据えた交通のデータ整備とその他各種データとの連携		検討	実施
取組4 自動運転技術等の実証実験		検討	実施
施策5-1 環境負荷の小さい低炭素な車両の導入			
取組1 すざ丸における電気バスの導入	検討	実施	
取組2 路線バスにおける電気バス・燃料電池バス車両や充電設備の導入	検討	実施	
取組3 庁有車の電気自動車への切替		実施	
施策5-2 モビリティ・マネジメントの実施【施策1-2再掲】			
施策5-3 公共交通を補完する自転車利用の推進【施策3-3再掲】			

成果指標と目標値

計画 p 93 - 94

成果指標	単位	基準値	中間目標 令和 8 (2026) 年度	最終目標 令和 12 (2030) 年度	モニタリング
目標 1					
持続可能な公共交通へと刷新されている					
公共交通利用者数※1 (鉄道・路線バス・すぎ丸)	千人/日	1,146 (令和元年度)	1,077	1,243	各鉄道事業者ホームページ、杉並区統計書
すぎ丸の収支率	%	74.4 (令和元年度)	74.4	85.0	区データ
区内路線バスの系統数	本	66 (令和3年度)	66	66	杉並区統計書
目標 2					
生活圏での快適な移動が確保されている					
高齢者※2の外出回数 週2回以上の区民の割合	%	75.5 (令和元年度)	80.0 (令和7年度)	85.0 (令和10年度)	高齢者実態調査報告書 (3年おきに実施)
交通機関の乗換えがしやすいと思う区民の割合	%	35.1 (令和2年度)	40.0	45.0	区民意向調査
交通の便が良いと思う区民の割合	%	94.6 (令和元年度)	96.0	96.8	区民意向調査
目標 3					
気軽に自由な外出と回遊が確保されている					
公共交通カバー圏域の割合	%	91.9 (令和2年度)	91.9	95.0	杉並区統計書
新モビリティの実証実験の回数	回	3 (令和2～4年度)	累計5	累計7	区データ
区内における交通事故件数 (1～12月)	件	838 (令和2年中)	738 (令和8年中)	678 (令和12年中)	警視庁データ
区内のシェアサイクルのポート数	箇所	110 (令和4年度)	250	400	区データ
目標 4					
安全かつ安価で最適な移動が確保されている					
区内における自転車関与事故件数 (1～12月)	件	367 (令和2年中)	323 (令和8年中)	297 (令和12年中)	警視庁データ
交通事業者間の連携により実現化した取組数	件	—	2	3	交通事業者ヒアリング等
公共交通オープンデータセンターに加盟している事業者数	社	7 (令和4年度)	10	13	公共交通オープンデータ協議会ホームページ
目標 5					
脱炭素化に資するかしこい移動へと転換されている					
すぎ丸のEV化	台	0 (令和2年度)	3	5	区データ
できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している区民の割合	%	91.9 (令和元年度)	93.1	93.9	区民意向調査
運輸部門・自動車のCO ₂ 排出量	千 t-CO ₂	215 (令和元年度)	—	140	オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト※3」算定数値 (特別区協議会)
運輸部門・鉄道のCO ₂ 排出量	千 t-CO ₂	34 (令和元年度)	—	15	

目標 1 持続可能な公共交通へと刷新されている

施策 1 - 2 モビリティ・マネジメントの実施(公共交通の利用促進)

取組 1 全区民を対象とする公共交通の広報啓発

	令和5	令和6	令和7	令和8	中期 令和9(2027)年度 ～令和12(2030)年度	長期 令和13(2031)年度～
計画	実施					
実績	★	★	すぎ丸の日			
		★	すぎなみフェスタ			
		★	モビリティウィーク※			

※前回の協議会で報告。
毎年9月16～22日、世界3000都市が参加する交通啓発週間で、都内自治体では初参加

目標 1 持続可能な公共交通へと刷新されている

施策 1 – 2 モビリティ・マネジメントの実施(公共交通の利用促進)

取組2 転入者を対象とする公共交通に関する分かりやすい情報提供

	令和5	令和6	令和7	令和8	中期 令和9 (2027) 年度 ～令和12 (2030) 年度	長期 令和13 (2031) 年度～
計画	検討				実施	
実績	★	★			 <p>ACCESS MAP 杉並区公共交通バスアクセスマップ 南北移動をもっと便利に。</p>	

区が作成した
バスアクセスマップを
転入者へ配布

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/1567/chirashi-a3.pdf> 6

目標 1 ▶ 持続可能な公共交通へと刷新されている

施策 1 - 2 モビリティ・マネジメントの実施(公共交通の利用促進)

取組3 小中学生を対象とする交通・環境学習の検討と推進

	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	中期 令和9(2027)年度 ~令和12(2030)年度	長期 令和13(2031)年度~	
計画			検討		実施		
実績	★	区立松庵小学校にて 交通・環境学習を実施					



目標 1 ▶ 持続可能な公共交通へと刷新されている

施策 1 - 3 すぎ丸の魅力を高めるための再設計

取組3 運行時間・ダイヤ・回送車活用などの柔軟な見直しの検討

取組4 運行計画・運行協定・運賃の根本的な見直しの検討

	令和5	令和6	令和7	令和8	中期 令和9 (2027) 年度 ～令和12 (2030) 年度	長期 令和13 (2031) 年度～
計画					検討	実施
実績			次の協議会に向け方向性を検討			
		★	★	かえで路線 回送区間営業化：実証～	本格運行	



目標 3 気軽で自由な外出と回遊が確保されている

施策 3-1 新たな公共交通サービスによる移動の選択肢の拡充

取組2 地域の回遊性の向上に資する グリーンスローモビリティの運行

	令和5	令和6	令和7	令和8	中期 令和9（2027）年度 ～令和12（2030）年度	長期 令和13（2031）年度～
計画	検討		実施			
実績		★	本格運行開始			



目標 4 安全かつ安価で最適な移動が確保されている

施策 4 - 2 MaaSの実装と自動運転技術の活用検討

取組1 交通事業者等のプラットフォームを活用したMaaSの実装

	令和5	令和6	令和7	令和8	中期 令和9（2027）年度 ～令和12（2030）年度	長期 令和13（2031）年度～
計画	検討		実施			
実績		★	杉並区産MaaS（ちかくも） 実証運行開始			



目標 4 安全かつ安価で最適な移動が確保されている

施策 4 - 2 MaaSの実装と自動運転技術の活用検討

取組 4 自動運転技術の実証実験

	短期 令和 5 (2023) 年度 ～令和 8 (2026) 年度	短期 令和 9 (2027) 年度 ～令和12 (2030) 年度	長期 令和13 (2031) 年度～
計画	検討		実施
実績	★	★ ★ ★	自動運転シミュレーション委託 3D都市モデル作成委託 東京都による自動運転の検証走行

目標 5 脱炭素化に資するかしこい移動へと転換されている

施策 5 - 1 環境負荷の小さい低炭素な車両の導入

取組 1 すぎ丸における電気バスの導入

	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	中期 令和9（2027）年度 ～令和12（2030）年度	長期 令和13（2031）年度～	
計画	検討				実施		
実績	★	けやき路線、1台購入					



成果指標と目標値

成果指標	単位	基準値	令和7年1月29日現在の最新データ	中間目標 令和8（2026）年度	最終目標 令和12（2030）年度
目標1					
持続可能な公共交通へと刷新されている					
公共交通利用者数※1（鉄道・路線バス・すぎ丸）	千人／日	1146（令和元年度）	943	1077	1243
すぎ丸の収支率	%	74.4（令和元年度）	64.5	74.4	85
区内路線バスの系統数	本	66（令和3年度）	79	66	66
目標2					
生活圏での快適な移動が確保されている					
高齢者※2の外出回数 週2回以上の区民の割合	%	75.5（令和元年度）	72.3	80（令和7年度）	85（令和10年度）
交通機関の乗換えがしやすいと思う区民の割合	%	35.1（令和2年度）	39.8	40	45
交通の便が良いと思う区民の割合	%	94.6（令和元年度）	93.1	96	96.8
目標3					
気軽に自由な外出と回遊と確保されている					
公共交通カバー圏域の割合	%	91.9（令和2年度）	92	91.9	95
新モビリティの実証実験の回数	回	3（令和2～4年度）	累計5	累計5	累計7
区内における交通事故件数（1～12月）	件	838（令和2年中）	1021	738（令和8年中）	678（令和12年中）
区内のシェアサイクルのポート数	個所	110（令和4年度）	455	250	400
目標4					
安全かつ安価で最適な移動が確保されている					
区内における自転車関与事故件数（1～12月）	件	367（令和2年中）	599（令和5年中）	323（令和8年中）	297（令和12年中）
交通事業者間の連携により実現化した取組数	件	—	1	2	3
公共交通オープンデータセンターに加盟している事業者数	社	7（令和4年度）	10	10	13
目標5					
脱炭素化に資するかしこい移動へと転換されている					
すぎ丸のEV	台	0（令和2年度）	1	3	5
できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している区民の割合	%	91.9（令和元年度）	92.5	93.1	93.9
運輸部門・自動車のCO2排出量	千t-CO2	215（令和元年度）	206（令和3年度）	—	140
運輸部門・鉄道のCO2排出量	千t-CO2	34（令和元年度）	34（令和3年度）	—	15